

研究シーズのタイトル

台湾の民主主義路線と民族政策

研究者名

岡本雅享

所属

人間社会学部

研究シーズの専門分野

社会学、政治学、民族研究

研究シーズのキーワード

台湾、原住民族、民主化

研究シーズの概要

台湾（中華民国）では1990年代から民主化が進む中、20世紀後半は9民族だった原住民族が16民族に増えるなど、民族政策が著しく進展しています。その背景には、台湾独自の存在意義を確立し、人権を尊重する「民主主義陣営」の一員としての国際的地位を、中国との差異化を図って確保するという、生き残りをかけた「国家的戦略」や台湾人独自のアイデンティティの醸成も関連しているとみられます。本研究では、そうした台湾の民主化路線や中台関係が、原住民族政策に影響を与えてきたとの仮説を立て、その実情や背景、展望を検証・考察しようとしています。

研究シーズの適用分野

原住民族の存在を重視する、独自の台湾人アイデンティティの現状を正確に理解し、情勢の変化をフォローしていくことは、日本が中台・日中・日台関係を見極め、適切な選択をしていく国際関係上の鍵ともなるとみています。